議案第 5 号

訴えの提起について

次のとおり求償金請求事件に関し訴えを提起することについて議決を求める。

1 相手方 住所 埼玉県新座市（以下略）

氏名 東内 京一

2 事件名 求償金請求事件

3 事件の内容及び請求の趣旨

相手方は、平成 28 年 3 月 31 日頃、市の福祉事務所が市民から預かっていた現金 300 万円を業務上横領し、同年 4 月 8 日頃から平成 31 年 4 月 2 日午後 5 時 12 分頃までの間、市の福祉事務所が当該市民から預かっていた当該市民名義及び当該市民の配偶者名義の各キャッシュカードを不正に使用して現金自動預払機から現金合計 6,500 万円を引き出して窃取した。

そのため、市は、当該市民から国家賠償法第 1 条第 1 項に基づく損害賠償を求める訴訟を提起された上、裁判所からの和解勧告を受け、解決金として 4,870 万円を支払う旨などを内容とする裁判上の和解をし、令和 6 年 1 月 9 日に同和解に基づき同額の金員を当該市民に対して支払った。

本件は、市が、相手方に対し、国家賠償法第 1 条第 2 項に基づき、上記支払額から相手方が市に対して被害弁償として支払済みの 150 万円を控除した 4,720 万円及びこれに対する令和 6 年 1 月 10 日から支払済みまで年 3 分の割合の金員の支払い並びに訴訟費用の負担を求めるものである。

4 事件に関する取扱い

(1) 判決の結果必要がある場合は、上訴するものとする。

(2) 訴訟遂行上の過程において必要がある場合は、適当と認める条件で和解することができる。

令和 7 年 2 月 20 日提出

和光市長 柴崎 光子

提 案 理 由

求償金請求事件に関し訴えを提起したいので、地方自治法第96条第1項第12号の規定により、この案を提出するものである。